

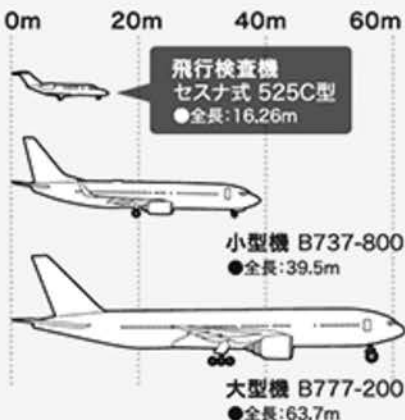
りょう なかつか亮



羽田新ルートは撤回を



【サイズ比較】



国土交通省ホームページより抜粋

朝からジェット機が 繰り返し品川を低空飛行

飛行検査機の実施に「これが大型機だったら」と不安の声

何が始まったの？

朝早い時間から小型ジェット機がエンジン音を響かせて、都心・品川を繰り返し飛行しています。

多くの方から「なんで、こんな朝から、しかも何度も飛行機が飛んでいるの」「何が始まったのか」「これが、あの低空飛行なの」等の声が多く寄せられています。

飛行検査が始まる

現在、都心・品川を飛んでいる飛行機は、羽田新ルート計画を実

施するための準備として国土交通省が実施している検査飛行機です。

これは新ルートに伴って羽田空港の空港保安施設等が正常に機能しているかを検査するもので、電波の横幅や縦幅等を測定し、正確な侵入コースかどうかを確認しています。

国交省は8月30日から12月下旬まで実施し、朝6時から8時を中心を実施すると説明。つまり実際の羽田新ルート計画とは実態は異なります。裏へ

検査機は全長16m 実際の航空機は60mで低空

実際は大きな旅客機が低空飛行

現在、朝から飛行している検査飛行機は全長約16mで高度600m付近を繰り返し飛行。朝から騒々しいと思われる方もいるのではないのでしょうか。

しかし実際に羽田新ルートが実施されると、機体の大きさも高度も飛行検査機とは全く異なります。

大型機の全長は約60m。羽田新ルート計画では、大井町で高度約300m。つまり、今飛行している飛行検査機より、約4倍も大きい飛行機が、飛行検査

機の半分の高さを低空飛行するのです。

国土交通省は飛行検査機による測定後、来年1月末には、実際に乗客を乗せた旅客機で試験運用を。3月末には本格運用を進める考えです。

低空飛行は撤回を


地元理解を得て進める説明していた国交省でしたが、地元住民の強い反対の声、そして品川区議会の「容認できない」決議を無視して、勝手に「地元の理解は得られた」との判断は到底許せません。計画撤回へ力を合わせましょう。

ニコン跡地に続き、NTT社宅跡の区民活用へ 品川区に土地購入を提案

品川区議会では9月19日から10月23日の約一カ月間にわたり、第三回定例会を開催。共産党は、区民生活を応援する様々な提案を行いました。

本会議質問にて、なかつか亮区議は「西大井にあるニコン跡地、NTT社宅跡地を品川区が購入し、特養ホームや図書館など多様な区民要望の実現を」と提案しました。答弁に立った濱野区長は、ニコン跡の土地購入についてを「引き続き区の（購入）意向を伝えていきたい」と答弁。NTT社宅跡についてを「大きな行政需要を抱える中で、少しでも場所を確保したい。NTTの利用の仕方を確認したうえで、区の行政需要をまかなう余地があるのか検討し、できるだけ区民のために役に立つ土地利用を、お互いにしていきたい」と答えました。

ニコンもNTTも相手がある話ですが、区民の暮らし向上のための行政需要を、相手に伝え、土地活用に向けた交渉が始まっています。住民の声を品川区政に！

なかつか亮 1975年品川区西大井生まれ／44歳／03年に27歳で初当選し、5つの常任委員会をはじめ、予算・決算委員会副委員長や行革特別委員会委員長を経験／区議5期／党区議団幹事長／家族：妻／29号線認可取消裁判原告／趣味：料理、旅行 

なかつか亮の駅前宣伝 火曜日朝7時半～大井町駅、金曜日朝7時半～西大井駅、土曜日夕方4時～大井町駅
スタッフ募集：区政報告を駅前宣伝で配付して頂ける方を探しています。少しの時間だけでも助かります。